

# 平成28年度福岡市小図研 8月定例会記録

文責：後藤 祐生（東吉塚小）

## 実技研修②

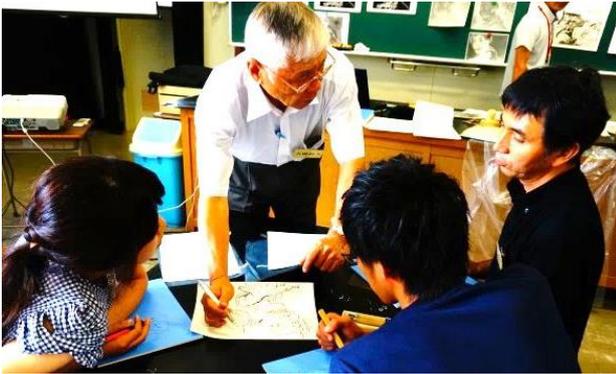
### 「木版・ドライポイントの体験講座」

講師：和白小学校 山口 亮大先生

## 版を体験

### 体験①木版を彫って

今回は、山口先生があらかじめ用意して下さった絵を、板に写し、陰刻（線彫り）、もしくは陽刻（面彫り）で彫っていきました。



### 体験②木版を刷って

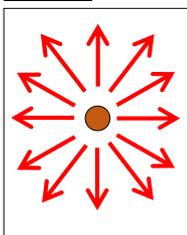
※ 場づくりやインクの練り方については和白東小安部が作成した8月定例会記録『版画の基本の「基」について』をご参考ください。

#### インクについて

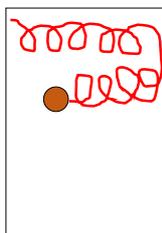


種類によって黒の濃さが異なるそうです。油性のインクがやはり濃さNO.1でした。

#### 刷り方



インクをつけた板に紙を載せたあと、バレンを使って、紙の中心から、外側に向かっ



て、「1時、2時、3時、4時…12時。」となぞり、紙を板に接地させます。その後、ひじを延ばし、バレンに体重をかけながら小さくらせんをかくように全体をこすっていきます。

### 体験③ドライポイントを刷って

ドライポイントではインクをつけた後に、インクのふき取り方がポイントになるようです。下の写真は同じ版ですが、ふき取り方で作品の印象がずいぶんと変わっています。



## 次の授業で使えるわざ！！

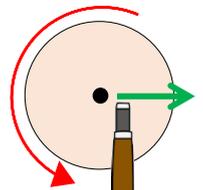


#### 彫刻刀を…研ぐ！

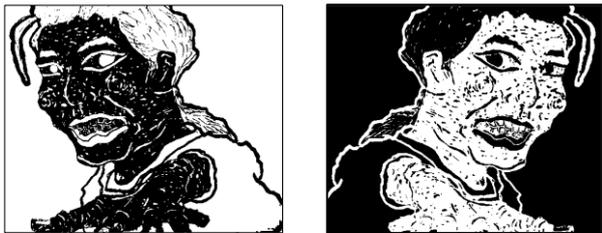
彫刻刀を使う木版はケガにつきもの。ケガの原因のほとんどは切れ味の落ちた彫刻刀ではないでしょうか。そんな彫刻刀をよみがえらせる機械が学校にも眠っているかも！？

#### 【刃物研ぎ機の使い方】

- ①研ぎ機は反時計回りに回転する。（赤矢印）
  - ②彫刻刀を図のような向きにし、中心付近から3時の方向へ押さえつけながら動かす。（緑矢印）
- ※中心から9時方向へ動かすと回転の力が、体の方へ向かってくるので危険です。



## 線描きから完成像を見る！



- ①彫刻刀で彫るところをペンで黒く表す（左図）
- ②写真でとり、左右反転させ、白黒反転アプリを使えばだいたいの完成像が分かる！！（右図）  
白黒のバランスを確認する時に使うそうです。

※パソコンを使った白黒反転の仕方

ペイントを起動⇒選択⇒全て選択⇒画像を右クリック⇒色を反転

## 背景の印象！

人物の指導に背景の指導に大変ですよ。山口先生は以下の参考資料を準備されて、背景の印象の違いに気づかせ、自分の思いに合った背景を考えさせているそうです。



資料の準備は大変かもしれませんが、一度作っておけば一生使える優れたものです。

ちなみに上の参考作品は版を刷ったものではなく、上記で紹介した線描きを白黒反転させた画像だそうです。これなら準備の時間短縮にもなりますね。

## 授業研究部会

11月18日の地区大会に向けて、各部に分かれ指導案審議を行いました。本時についてだけでなく、単元全体についての話もできました。中学年（3年）では、オリジナルの物語をつくり、その物語に出てくる生き物を子どもたちが想像して、紙版画で表す授業をします。題材の導入では、身の回りの材料を使って版を体験させる活動の時間を十分に確保した後に、学習に入るとのことでした。

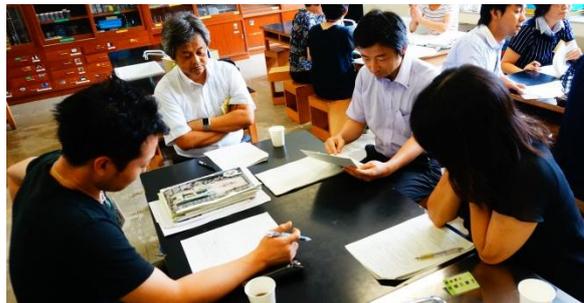
### 特別支援部



### 低学年部



### 中学年部



### 高学年部

